

TICAD7 JICA Side Event

日時:8月29日(木) 11:45 - 13:45

場所:ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル「シルク」



共催：国連開発計画(UNDP)

アフリカの質の高い成長

—持続可能、包摂的かつ強靱な開発を目指して—

背景

1993年以降、日本政府が主導し他機関と共に開催してきたTICADは今夏7回目を迎える。この間、アフリカ諸国は目覚ましい発展を遂げたが、同時に構造的な課題や新たなチャレンジに直面している。今般、長年、アフリカの経済開発について研究を重ねてきたコロンビア大学Initiative for Policy Dialogue (IPD) のジョセフ・スティグリッツ教授を招聘し、特に最近10年間のアフリカの経済構造変化を総括し、今後を展望するとともに将来のTICADの役割を考える。併せて、JICA研究所とコロンビア大学IPDの第4次共同研究“Quality Growth in Africa”の成果を発表する。

目的

- ▶ アフリカにおける持続性、包摂性、強靱性を加味した質の高い成長について、長年アフリカの経済開発に係る研究に従事してきたスティグリッツ教授から示唆を得、政策インプリケーションを引き出し、議論する。
- ▶ 今後、国際社会やTICADが果たすべき役割について、パネリストや参加者の中で議論する。

キークエスチョン

- ▶ アフリカの過去10年間の経済成長や経済構造変化をどう評価するか？
- ▶ アフリカが質の高い成長を達成するための課題は何か？
- ▶ 国際社会はアフリカの質の高い成長をどのように支援すべきか、TICADの役割とは？

登壇者

ジョセフ・スティグリッツ コロンビア大学教授
アクバル・ノーマン コロンビア大学教授
ハローン・ボラット ケープタウン大学教授
島田 剛 明治大学准教授
UNDP (調整中)
大野 泉 JICA研究所所長

言語： 日本語 英語 仏語